

曲線ハイウェイ

武田 繁太郎
え・横 塚 繁



★あらすじ 浜名湖サービシアreaで、多木洋介は若い神戸の女性、宇津康子と知り合い、一夜を過ごした。その夜も、十日か半月おきにデイトの電話をかけてくる康子と多木はMVハードトップを駆って逢瀬を重ねた。康子の魅力につかれた多木は正体を知るため、神戸出身の友達岡本和彦とその女友達ルミと共に名神を走り、神戸へやって来た。康子の居所を見出せぬ多木は、彼女の面影に似た展馬英子を紹介された。典型的な神戸っ子である英子に案内され、神戸の街を歩いた後、六甲山をドライブに出かけた。ロマンティックな情景に誘われて、英子を抱きしめた多木の胸に始めて感じるいとおしさがつつた。その夜、岡本たちとクラブMへ行った多木はほの暗い店の隅に、長い栗色の髪をたらしただ女の姿を認めてハッとした。康子ではないかと思ったが見失った。そして英子とゴーを踊り、ドライブに出ようとタクシーを止めた。

「海のみえるところへいこう」

多木は、英子とタクシーのシートにおさまると、

「そうだ。須磨なら、海がみえるな。須磨へいってくれ」と、思いついたように、運転手に言った。

須磨がどの方向にあるのかはわからなかったが、神戸ははじめての多木も、むかしからきこえたその地名は知っていた。

タクシーは、車のひしめいている三の宮の大通りを抜けて、港ちかくのランプから高速道路にはいった。

タクシーは、左右に迫ってみえるビルや街の灯をかきわけながら、スピードをあげていく。

そのスピードが、あの宇津康子の幻影を吹きとばしてくれるように、多木には思えてきた。

(もつとばせノもつと——)

多木は胸のうちで叫んでいたが、その叫びにあおられでもしたように、若い運転手は、さらにスピードをましで、先行車をつぎつぎと抜き去っていった。

幻は、多木の脳裏から霧散していた。

「英子さん」

多木は、ならんでいる英子の手をとっていった。

「辰馬英子は、やっぱり、辰馬英子だ」

英子は、いぶかしそうな眼差しで、多木の横顔をながめた。

「いや。君は、君なんだ」

多木も、自分をながめている英子の顔をながめかえした。

「たしかに、君は君なんだ。君以外のなにものでもないんだよな。そうなんだ」

半ば冗談めいたような口調だったが、英子をつつめている多木の眼差しには、その口調とは裏はらな輝きがあった。

英子は、微笑した。

「もちろん、あたしは、あたしよ」

うなづきながら、その笑顔は、あどけないほどおろかだった。

ふいにまた、むせぶようないとおしさが、多木の胸にこみあげてきた。思わず、彼は、さらにちからをこめて、英子の手を握りしめていた。

タクシーは、高速道路をおりと、夜の闇につつまれた静かな街なかにはいつていた。左手に、水族館らしい建物がみえた。そのむこうには、もう海の気配があった。

「ここ、須磨よ」

英子が教えた。

「そうか。静かな、いいところだな」

多木は、車窓からあたりをながめたが、

「ああ。あすこにホテルがあるじゃないか」

と、前方の明るい灯の連らな四、五階建ての建物

を指さした。

「あれは、Pってホテルよ」

「海のみえるホテルか」

「そうね。プールがあったりして、若い人たちがよく遊びにいらるわ」

「そりゃいい。じゃ、あのホテルの海のみえるところで、呑みなおそうじゃないか」

タクシーは、Uターンして、ホテルのまえでとまった。このホテルは、バーや食堂は一階にあった。ホテルのまえは、道路のむこうに、いちめん松林がひろがっていた。黒々とした松の群れが、海への視界をさえぎっていた。

海をながめながら、という多木の注文で、二人は、四階の部屋に案内された。

「こりゃ、注文どおりだ」

多木は、窓のカーテンをいっばいにひらいて、歓声をあげた。

松原越しに、ほのかな月光に写しだされて、須磨の海がひっそりとよこたわっていた。ないでいるのか、白波ひとつみあたらない。沖をとる船の灯や漁火らしい灯が、点々とまたたいていた。

多木は、あかずながめいった。

「あなたって、海や山がよほど好きなのね」

英子も、窓ぎわによってきて言った。

「そりゃね、君たちのような神戸の連中には、もうみあきたながめかも知れないが、はじめて神戸にきたぼくには、とっても新鮮だな。山も海も」

「でも、東京の人たちも、千葉とか伊豆あたりはよく知ってるんでしょ？」

「うむ。ぼくも千葉や伊豆へはしょっちゅうドライブしている。だけど、あっちの海や山と、神戸のこの海や山とでは、どこがちがっている。こっちのほうが、なんとなくロマンティックな感じなんだなあ。外海と内海とのちがいのかも知れない」

ボーイがノックして、酒を運んできた。

「さあ、きた。このロマンティックな海をながめながら
こっちもロマンティックにやろう」

多木は、天井の灯消し、ベッドのサイドテーブルのランプだけをととした。

部屋がうす暗くなると、わずかな月明りに映えた海の面が、ほのじろく浮びあがってくるようであった。

多木は、自分で水割りをつくって、英子にもすすめた。
「あらためて、乾盃。やっと二人きりになれた君とほくの
幸せのために」



二人は、ガラスの澄んだ音をひびかせた。時刻は、九時半ごろだったろうか。三の宮のMを早々に切りあげたので、夜の時間はまだ十分に残されていた。

二人は、呑んだ。多木の念願どおり、ロマンティックな夜の海をながめながら、二人は、いつのまにか寄りそうような恰好で呑んでいった。

英子は、若い娘にしてはアルコールに強そうだったが、それでも、杯を重ねていくうちに、ときおり、ふっと秘めやかな吐息をもらしていた。

「すてきな夜だ」
多木はつぶやいた。

「神戸にきて、君のような人にめぐりあい、こんなすてきな夜をすごそうとは、夢にも思っていなかったよ」

「あたしもよ。あたしも、なんだか夢みたい——」
「ほんとに、そう思ってる？ ほんとに、このほくが嫌
いじゃない？」

「いまさら、どうしてそんなことをきくの？」
それにはこたえず、多木は、英子の手をとって、ひきよせた。

「あいしてる」
「あたしも」

二人とも、短かくいい、たがいの口を寄せあって、唇をあわせていた。

しばらく、二人は、熱っぽい口づけをかもしていったが、英子を抱いている多木の両腕に、しだいにちがいがこもり、やがて、多木は立ちあがると、英子の身をゆくりと抱きあげていた。

多木は、英子をベッドのうえに移した。自分も、ベッドによこたえた英子のうえに、上半身を重ねながら、
「ほくに許してくれるね？」

と、その耳許でささやいた。

英子は、多木の顔を仰いだまま、無言で、うなづいた。
「後悔しない？」

「しない」

＜神戸の催物1月ご案内＞

＜音楽＞

★ニューイヤークンサート

1月11日(火) PM7:00 神戸国際会館
民音 会費 800円
小泉和裕 大阪フィルハーモニー交響楽団

★ジョルジュ・ジュダン

1月12日(水) PM6:30 神戸国際会館
民音 会費 1,100円

★魅惑のジャズ巨星 デューク・エリントン楽団

1月13日(木) PM6:30 神戸国際会館
入場料 S2,800円 A2,500円 B2,200円 C2,000円
D1,000円

★フォークコンサート

1月16日(日) PM6:00～PM8:30 神戸国際会館
入場料 500円
ジョーズ、赤トンボ、貝がら、谷村新司、ラダンフォー

★ベートーベン弦楽四重奏団

1月20日(木) PM6:30 神戸国際会館
入場料 S2,500円 A2,000円 B1,500円 C1,000円
労音 会費 1,200円 創立 50周年記念来日



★カーメンキャバレロ ピアノリサイタル

1月26日(水) PM6:30 神戸国際会館
入場料 A2,300円 B2,000円 C1,600円

★ヒデオロザンナ

1月29日(土) PM2:00 6:30 神戸国際会館
民音 会費 900円

★はしのりひことクライマックス

1月31日(月) PM6:30 神戸国際会館
民音 会費 650円

＜演劇＞

★民芸公演「つづ」

1月17、18、19日 PM6:15 神戸国際会館
労演 会費 700円 アーサーミラー作 渡辺浩子演出
出演/滝沢修、細川ちか子、大滝秀治、奈良岡朋子他

＜演芸＞

★新春爆笑公演「風呂敷藝さん」『政止場旅館』

1月1日～10日迄 AM11:30 PM2:00 国際会館
入場料 指定席 1,000円 700円 自由席、前売 400円
出演/京唄子、鳳啓助、石井均他

★桂春団治独演会

1月22日(土) PM6:30 県民小劇場
労音 会費 700円

★第一回浪曲発表会 親鸞聖人御伝記

1月28日(金) AM11:00 PM4:00 神戸国際会館
入場料 1,500円

こんどは、三度、四度、首をよこにふってみせた。
「六甲で、あなたに唇をあげたとき、こんどはきつと、あなたにあたしの全部をあげるようになるだろうと、そんな気がしたの。でも、そうなくても、後悔しないだろうって、あのときから、あたし、そう思ってたわ」
もうそれ以上問いたださねばならぬなもの、多木にはなかった。英子の心をえたという欣びが、多木の全身にあたらしい興奮をよびおこしていた。
多木は上半身をもたげ、ベッドのわきにひざまづくようにして、手を英子のスーツの上衣のうえにおいた。指先きが、上衣のボタンにのびた。
「待って」
英子が小声で、指の動きを制止した。
「お願い。あかりを消して」
「よし、消すよ」
多木は素直にうなづき、立って、サイドテーブルのランプのスイッチをひいた。
部屋は、闇の底に沈んだ。カーテンのひらかれた窓から、月の微光が、光ともいえないぬあかるさで、室内を薄紫色に染めていた。

「あなた、さきにベッドにはいって」
英子は起きあがりながら言った。
「いいよ」
多木は、英子の羞恥には柔順に従った。
彼は手早く身に着けていたものを脱ぎ捨てると、言われたとおり、さきにベッドに身をよこたえて、待った。
英子も、多木に背をむけて、上衣を脱いだ。スカートの脱いだ。ソファに腰をかけ、身をかがめて、ストッキングもはずしていった。ふたたび立って、ブラウスも脱いだ。
紫地の闇のなかに、かたちのいい英子の身体が輪郭が浮びあがっていた。その輪郭は、ともすると闇のなかに溶けいるように、ゆれ動いていた。スリッパを脱ぎ、ブラジャーもはずしていく気配が、多木に感じられた。
「お願い。目をつぶって」
英子は、哀願するようにいった。
正直に、多木は、闇のなかで、両の目をしっかりとぎしった。
幾秒かの間が、なにか切迫したような雰囲気の中で流れた。
(つづく)

載っている広告にはなにかとひとつと木曜のきらいな私なのにほなせかこの本はあり、みがせない魅力がひそんでいて私の目大いに惹きとめるのです。11月号の異人館大変異味尽くします。いいただきました。神戸っ子に栄光あれ！／＼東京都台東区 高山洋子▽

★先日はおかしい中をお邪魔になりました。有難う存じます。頂戴致しました。十月号の散策が大好きな私には十月号の企画で早速土曜の午後に土曜の午前をかけて、北野町から本通りを歩いてまいりました。このある館はちょうど中から人が出づか私の手には、神戸っ子、を、Very interestingと喜んでいたました。北野クアターのバーのカウンターから見たポスターが、建築中のビルにささぎられてみえなくなったのはとても残念でした。私の神戸行きも30回を感えました。これもいつかでも好印象ばかりのおかげと想っております。再度神戸の歩道は今度始めて歩きましたが夜景が素晴らしいと思います。これからもう御洗濯下さいように。

／鎌倉市 三谷佳子▽

「あけましておめでとーございませう。旧年中はご愛顧ありがとうございました。新しい年の一九七二年、さて何が起るか……。どんな波が打ちこめても神戸っ子らしい自由な、独自な歩みを続けたいと思います。本年も引き続きましてご愛読、ご後援のほどをお願いいたします。(小泉康隆さんへ)「神戸号」を行く、東京より神戸へ、新居をかまされた岡井康隆さんの「連載挿画ポエムコラージュは『女の世界』を多田智満子さんの詩で、また、若い一之源元子さんの『アングロコウベリ』福集都で街を歩く『街のスペース』など、活気に満ちたページをスターしました。」

★新年号より神戸っ子の本代を一冊二〇〇円に改訂させていただきます。一〇〇円では割ってゐるが、何となく損をしてしまうので、何とも申し訳ござい

ません。結婚の予感から前回は「大井の
 さん」が、今迄の「大井のさん」の
 ★新年号より、六甲山の裏側をさど
 る「北岸山」が、カスター
 第2回目は紅い燃ゆる有馬の大会茶会
 を訪れました。女子大の千五百人近い
 イとまがばばらの千辛百人近い「
 物案」若き女性に、男性三千人デス。
 カモノロコニキス。ヨカッターデス。

乞食愛読
 ★勸業館日記、今月から飼いの
 シリウス。象やスカンク、ライオン
 の飼ひ方、出くるところのこと。こ
 んな動物飼ひにんだだけどうカサ
 とんな方策しに、高田明子V
 ★十月月号「異国書集」が好評な
 得、スター「同館専任」で好評な
 得、あるカサで再び撮るのを願
 いするに、どこも両眼撮影カメラ
 い、カサマンの皆さん、くぐれ
 も礼儀だけは守っていたんだ、い
 ★お正月がやってきました。本年
 どうでしょう。日本製を結ぶと
 三年もガパンで直毛を通した、
 の続いたかたです。本年は19才の泰
 に結くかたです。本年は日本製を結
 ったあとイギリスジーンズをするこ
 ととして。ささささ。

▲いすみあさひ

神戸っ子ごあんない

神吉行山若百村宮宮松福深原畑原野南中中西直外竹
戸原吉口杉崎上地崎井富水 口沢部西巻脇木島馬
青年治哉泰辰正裏辰高芳恵泰専忠幸圭 一 太健準
会議良女弘慧雄二郎二雄男美吉良一郎郎三勝弘親樹吉助

★月刊の神戸つ子をお買求めの時には左の本屋さんへどうぞ。

文芸春秋
流泉堂
漢書堂

ニユー漢口
二ツ屋
漢口堂

東京町筋
津川商店街
セブン通り

新聞会館1階

★月刊神戸つ子を毎月お読みにになりたい皆さん、また神戸を眺めたいにお友達に、神戸の寄りをとおどけに下さりたい方は、編集室までにお申込み下さい。さそくお送りします。

6ヵ月分 一〇〇〇円
1年分 二四〇〇円（送料共）

★月刊神戸つ子で紹介されている神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして神戸つ子がおかれています。



日 東 文 館 元 大 丸
 海 文 館 元 通 5 丁 目
 宝 文 館 元 鉄 本 山 北 口
 宝 南 堂 阪 神 御 影 南 側
 小 原 光 文 館 國 鉄 住 吉 北 口
 隆 司 書 房 新 開 地 本 通 口
 文 進 堂 書 店 垂 水 銀 座 通
 木 村 書 店 明 石 市 板 町
 神 戶 書 林 板 橋 バス 停 前
 ★月刊神戸つ子に広告を掲載ご希望の方へお申し込みください。★神戸日店会の事務局も月刊神戸つ子編集室内にあります。

ル ド ー
新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

ー ス ト シ テ ィ
神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770

し む ら 珈 琲 店
神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

り げ な く
長狭2-22 TEL 331-9762

ン フ ラ ワ ー
神戸市生田区・花時計地下
TEL 331-7794

BAR

以 子
神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069

鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

〈エ ス〉
神戸市生田区下山手通2丁目6
TEL 331-2406・331-8993

ズ 倶 楽 部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
生田新道 TEL 391-3300

万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

ち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

ヤ ル ダ ン
神戸市生田区中山手通1丁目111
TEL 331-8589

イ ス
神戸市生田区下山手通2丁目29
ベル地下 TEL 391-5065

鈴
1丁目111 TEL 331-2403

蘭 西 屋
三宮生田新道相互タクシー北入る
TEL 321-0230

c l u b な ぎ さ
神戸市生田区中山手通1丁目111 TEL 331-8626

c l u b 落〈ふ き〉
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

く ら ぶ ー げ ん
神戸市生田区中山手通1-1-111
TEL 331-8593

c l u b Moon Light
B A R
神戸市生田区北長狭通1丁目24
TEL 331-0886・391-2696

ク ラ ブ る ふ ら ん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

ク ラ ブ ヤ ン グ ベ ル
神戸市生田区中山手通2丁目89
光ビル1階 TEL 331-3052

★STAND & SNACK

ス タ ン ド 英 国 屋
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100・331-6600

ス ナ ッ ク エ ル ソ タ ノ
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

ス ナ ッ ク や ん ぐ す ぽ っ と
生田区下山手通4丁目4の5下山手マンション1F
TEL 391-5568

ス タ ン ド グ ラ ム ー ル
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

お と ぎ の 国 び ー た ー ぱ ん
神戸市生田区北長狭通2丁目1
金剛山南角 TEL 321-1380

n i g h t h o u s e リ チ ャ ー ド
神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F TEL 241-3041

ス タ ン ド さ り げ な く
生田区下山手通2丁目31
生田筋上高地西入る TEL 331-3714

グ ラ タ ン 小 屋 5 つ の 銅 貨
神戸市生田区北長狭通2-14
金剛山西入る TEL 391-1438

ス ナ ッ ク ビ ジ ー ビ ー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

ド リ ン ク 薔 薇 屋
ス ナ ッ ク
生田区北長狭通5丁目19-4
TEL 351-4311

洋 酒 の 店 キ ャ ン テ ィ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060・391-3010

DRINK ス ネ カ ジ リ っ 子
SNACK
神戸市生田区下山手通2丁目
水尻ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack サ ン ト ノ ー レ
ティ&ドリンク
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

素 舌 洞 で っ さ ん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
三宮映画山入る TEL 331-6778

S T A N D ア ト ラ ス
生田区中山手通1丁目95
TEL 331-5433

S T A N D F A N F A N
神戸市生田区下山手通2丁目29
TEL 391-1410

ス ナ ッ ク G A S T R O
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

ス タ ン ド ク ラ ブ ・ ガ ー デ ニ ア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

S N A C K 山 の 手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 221-3637

淳 子 の 店 娑 (SARA) 羅
生田区中山手1丁目91
TEL 391-1647

ス ナ ッ ク ダ ン デ イ
神戸市生田区・農業会館西筋上ル
天野ビル2F TEL 331-6450

S N A C K マ ゼ ラ ン
B A R
神戸市生田区加納町4丁目1
TEL 391-2366

s n a c k M O R E M O R E
神戸市生田区中山手通1丁目107
TEL 331-4728

ス ナ ッ ク 山 荘
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

PIZZA & Snack マ ッ ク ス 5
神戸市生田区下山手通3丁目16三福ビル2F
TEL 391-8959

神戸のうまいもん&ドリンキング

★日本料理

阿なご寿司 青 辰
神戸市生田区元町通3-184
TEL 331-3435

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538

和食 くれない
神戸市生田区中山手通1-1-111
KCBビル2F TEL 331-0494

かつぱう 花くま
神戸市生田区花岡町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味酒
お茶漬・茹ばた
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3548
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび ふる里
鍋もの
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼 たちなば
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

和風料理 楽樹
神戸市生田区下山手通3丁目41
トアロード西筋淡路交通入る TEL 391-8649

料亭 大しま
葺合区熊内町6丁目39の6
TEL 221-1360・1945

割烹 喜久重
生田区元町通2丁目82
TEL 331-1915・391-3385

★西洋料理

レストラン アポロン
ティールーラー
神戸市葺合区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン 鹿麩 皮〈あらかわ〉
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

純フランス料理 エスカルゴ
神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 331-5034

メンバーズクラブ レストラン・コーヒョップ ルカ・カルトン
生田区北野町3-67-2
TEL 241-4321~4

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de fashion 花屋敷
三宮プラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル きゃんどる
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン キングスアームス
神戸市葺合区磯辺通4-61
TEL 221-3774

グリル ケーンス
東店 生田東門筋 TEL 391-0159
西店 農業会館西下ル TEL 391-3212

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554

洋風割烹 和蘭陀屋
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 33-2509

ビーフステーキルーム 則竹
トアロード ミズキビル1F
TEL 331-9580

イタリア料理 ドンナロイヤ
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ティーレストラン 那寿
三宮トアロード
TEL 391-1873

レストラン ミリオンクラブ
生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393~5
メンバーズ 221-1162

レストラン・ポ

★喫茶

フイック
ウエスタン

宮水の
コーヒーズ
中山手店・
センター街店・

modern Jazz さ
& Coffee 生田区北

カフェ・スボット サ

★CLUB &

くらぶ 阿

club 飛

club S

エドワ

ホワイトローズビル5・6F

club 小

club さ

クラブ ジ

club ル

クラブ

洋酒 肆 仏



初春のお慶びを申しあげます

旧年中はお引立てありがとうございました。

一九七二年もフレッシュななぎさをご愛顧くださいませ

与野弘幸



CLUB
なぎさ

神戸市生田区北長狭通2-1
PHONE 331-8626
P.M. 6時-P.M. 12時迄

GLILL & BAR
なぎさ

神戸市生田区中山手通1丁目111
PHONE 331-3670
P.M. 5時-A.M. 1時迄

スネカジリッ子の姉妹店

ドリンク・レストラン テントウヤ



【點燈屋】

生田区中山手通1丁目・レインボービル地下

TEL. 331-0393

ビール ¥250 オールド水割 ¥400

オールド1/2ボトル ¥2,000

食べものはスチーキからおむすびまで

営業時間P.M. 6:00~A.M. 2:00

日曜・祭日休み



DRINK & SNACK
スネカジリッ子

生田区中山手通2丁目13 永晃ビル地下

TEL. 391-8708

水割G&G ¥300 ビール(小) ¥200 おつまみ ¥100

ピッツア ¥350 ミニチュアビン(W) ¥500

P.M. 5:00~A.M. 1:00 第1、第3月曜日休み。

生田神社



A HAPPY NEW YEAR

ファッショナブルに

着飾って

けだるい

音楽きいて

夜の

やさしいきもちを

赤いそふあーに

もたせかけて

きのうの

海の

きらめき

この白いかべに

うつします



花屋敷



hanayashiki

MAISON
DE
FASHION

KOBE FLOWER ROAD

TEL 251-2109

TEA TIME 12:00NOON ~ 6:30P.M

NIGHT TIME 7:00P.M ~ 2:00A.M





SNACK
さんぐすぽと

生田区下山手通 4 丁目
4 の 5 下山手マンションF
TEL 391-5568



神戸市生田区中山手 3-20
東亜マンション1F
TEL 231-0723

KOBE DRINKING GUIDE

Stand & Snack



三宮生田筋
ヒロタ横入ル
TEL 391-5823



K
BLACK

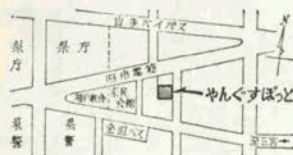
生田区下山手 1 丁目
ゼウスタウンビル地下
TEL 078-331-1246



★新年おめでとうございます。

県民会館の東、下山手マンションの1階に昨年夏オープンした“ヤングスポット”も今年ではじめてのお正月を迎えた。文字通り、ここは若人たちの憩いの場でありコミュニケーションの広場でもある。壁には四面ステレオが備えつけられており、音の響きをよくするために、店内の構造にも細心の注意が払われているだけあって音響効果は抜群。また折にふれてマスターの松谷さんの演奏で真白なグランドピアノの素晴らしい音色が楽しめるのもご機嫌だ。カラフルな店内に座っておしゃべりしているだけで何となく楽しくなってくる、若さに溢れたそんな素適な店です。

営業時間 A.M.11:00~P.M.2:00 P.M.6:00~A.M.1:00
第1 第3日曜日は休みです。



ヤングスポット

★新年おめでとうございます。トアロードに昨年完成したNHK神戸放送会館の西、東亜マンション1Fにあるのが本格派の個性的なスナック“ガストロ”だ。ガストロとはイタリア語で胃袋という意味。食べて、飲んで、おしゃべりして、おもいきり楽しんでいただこうというわけで、こんなスナックが神戸にあるのは本当に嬉しい。ギターとマイクも用意してあるので、興がのれば自慢ののども披露できる。大きなけやきのカウンターと、店内のゆったりとしたスペースが飲む人に落ち着きを感じさせる、一度は足を運んでみたくなる店だ。

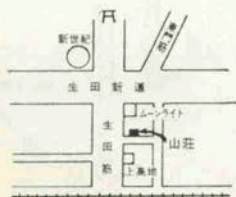
Tea Time(A.M.11:00~P.M.6:00)コーヒー¥150、ジュース¥200
カレー¥200 スパゲッティ¥200

Wine Time(P.M.6:00~A.M.1:00)ビール¥250、オールド¥350円
年中無休 但し日曜・祭日に限り5時より営業



ガストロ

KOBE DRINKING GUIDE



山荘

★明けましておめでとうございます。

旧年中はいろいろとごひいきにあずかり、有難うございました。

今年も皆様のよき山荘でありますよう、スタッフ一同努力いたしてまいりたいと思います。

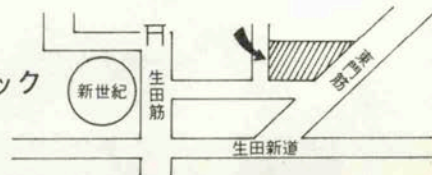
本年も よろしくお願ひ致します

ニッカウイスキーG&G ¥350 ビール¥250

スパゲティ、スープ、その他各種小料理

営業時間 P.M.6:00~A.M.2:00

第1、第3日曜日休み。



K-ブラック

★東門筋を少し北に上った左側にゼウスタウンビルがある。このビルの西側の階段をトン、トン、トンと降りた突き当りにあるのがこの“K-Black”だ。シックで洒落たムードの店内には、ピカソや津高和一画伯の絵、それに近代エジプトの壁画が並んでおり、庶民的な雰囲気の中に落ち着いた気品をそえている。ママの市来慶子さんと妹の久美子さんの意気の合った姉妹コンビの暖かい雰囲気や部屋のすみずみまであふれており、安心してお酒を楽しめる、とはある常連ファンの評。気楽にお酒を楽しみたい方はぜひどうぞ

水割 400円. ビール 300円

午後5時~午前零時まで営業、日曜・祭日休み